

社会啓発委員会 公募内容	
委員会よりのご挨拶	外国人材受入れ・共生に関して国の施策が急展開しています。日本語教育学会ができることを考え、日本語教育関係者・日本語学習者のためだけでなく、より良い社会づくりに貢献したいと考えています。
募集人数の目安	2名程度 ※採用人数は募集人数を超える場合や、少ない場合があります。採用がない場合もあります。
主な活動紹介	<p>本委員会は、次の3点を目的とした事業を行っています。</p> <p>(1)日本語教育の社会的認知を高める (2)日本語教育の社会的環境づくりをめざす (3)社会的課題の解決のために行動する</p> <p>学会では、A.生活とことば、B.学習とことば、C.キャリアとことば、を社会的課題と捉え、社会啓発委員会では毎年秋季大会で、これらに関して開催地周辺地域が抱える課題を考える一般公開プログラムを開催しています。また、中央省庁の施策・審議会の情報をとらえ、関係各所に発信したり、日本語教育に関連する様々な話題や問題点に焦点を当てたディスカッション動画を配信したりしています。</p> <p>上記の活動のために、年に5回程度の会議、事業別のワーキンググループでの打ち合わせ、また、随時メール等での審議を行います。</p> <p>* 詳しくは学会のホームページの「社会啓発事業」をご参照ください。</p>
ご担当いただきたい業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大会一般公開プログラムの企画・運営 ・ディスカッション動画(NKG TALKERS' Table“N子の部屋”)の作成 ・国や地方公共団体における、日本語教育に関連する施策や動向の情報収集および発信 ・その他寄附活動等社会啓発関連事業
応募要件	積極的に応募していただきたい方として、「より良い社会づくりのために日本語教育ができることは何か」という問題意識をお持ちの方、また委員会で一緒に考えたいと思っている方
<p>当委員会の委員に応募していただける方は、別添の応募用紙に必要事項をご記入の上、当委員会のメールアドレスにお送りください。なお、ご質問等がございましたら、ご遠慮なく当委員会にメールにてお問い合わせください。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます！</p> 	